自動車用簡易型防犯警報装置

XS210

12V 車専用





この度は自動車用簡易型防犯警報装置 XS210 をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本製品は車内に装着し、衝撃やドアの開放を検知すると威嚇 LED およびサイレン音による警告・警報を発し、車上ねらいや車両盗難等を抑制する簡易型防犯警報装置です。

本書には取付けおよび操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえご使用ください。また読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

⚠ 注意

本製品は車体への衝撃やドアの開放を検知し警報を行う装置です。車上ねらいや車両盗難等への防犯効果は多大ですが、完全に防止できるものではありません。また本製品の作動の有無にかかわらず車両盗難、車上ねらい、車両へのイタズラ等が発生しましても、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本書の見かた -

⇒PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
₾ アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。

- 目 次・

• •
衝撃センサーの感度を変更する 22 空圧センサーの感度を変更する 22 威嚇 LED の点滅パターンを変更する 23 充電中の LED 点灯表示を変更する 23 誤動作キャンセル機能 24 警報履歴を確認する 25 緊急時のサイレン音停止方法 25
付録・・・・26 リモコンの ID コードを登録する・・・26 設定を初期状態に戻す (オールリセット)・・・27 セキュリティステッカーの 貼付け場所について・・・・27 輸入車モード・・・・28
こんなときは? 30 故障かな?と思ったら 31 お買い上げ時の設定一覧 32 男出仕様 32 アフターサービスについて 33
保証規定 · · · · · · 34 保証書 · · · · 裏面
TEP

で使用上の注意

で使用の前に、この「で使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」と「注意」の2つに区分して、説明しています。

☆ 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

小警告

事故・火災等の危険性があるため、下記の状態や場所での使用は避けてください。

- ●本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ●運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
- ●本製品は、運転や視界の妨げにならず、車両の機能(エアバッグ等)の妨げにならない 場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- ◆本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両故障の原因となります。
- ●本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ●本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える 恐れがあります。
- ◆本製品を不用意に人や動物の近くで作動させないでください。聴覚障害になる恐れがあります。

⚠ 注意

機能面に支障を起こす可能性がある下記の使用に十分注意してください。

- ●メインユニット本体・リモコン本体に、お買い上げの日から 1 年間の保証がついています。その他の付属品(⇒ P6)は保証の対象外となります。あらかじめご了承ください。
- ●保証書には、必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- ●他のセキュリティシステムとの併用は行わないでください。誤警報の原因となります。
- ●本製品はオープンカー等、密閉性の低い車両では使用できません。
- ●メインユニットに専用バッテリーを入れる時、ネジにあったプラスドライバーが必要に なります。
- ●指定の電池および充電池以外は使用しないでください。
- ●本製品は 12V 車のみ使用可能です。24V 車には使用できませんのでご注意ください。
- ●本製品を充電中に警戒モードに設定することはできません。

△ 注意

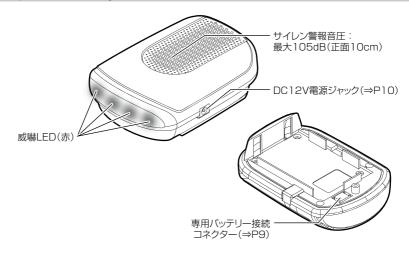
- ●キーを OFF にした時車両シガーソケットの電源が OV にならない車は、車両バッテリーを保護するため、エンジンを始動していない時は必ずシガープラグコードを抜くか、弊社オプションの SS-063 電源配線ユニットの使用、または設定を「輸入車モード」(⇒ P28) に切替えて使用してください。
- ●本製品は下記のような状況では、音や振動を検知して警報を発する事があります。
 - ・強い雨や風、ヒョウなどが降っている
 - ・地下駐車場等、空調ファンの振動や音が発生している場所
 - ・改造マフラーを装着している車やバイクが付近を走行している場所
 - その他の振動・騒音が発生している場所
- ●メインユニットやリモコンを直射日光が当たる場所に設置・放置しないでください。
- ●本製品の取付けは、確実に固定してください。固定が不十分だと誤作動の原因となります。
- ●本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- ◆本製品を修理・点検期間中又は故障などによる作動不良時における車両盗難、車上狙い、 車両へのイタズラ等が発生しても、弊社では一切の責任は負いかねます。
- ◆本製品は防水加工されていません。雨、水等のかかる場所や濡れた手での操作は避けてください。また製品内部に水分が侵入した場合、故障の原因となり修理不可となります。※急激な温度変化による結露や汗をかいた手で触ったり、ポケットなどに入れた状態で雨や汗による蒸れ等によって内部に水分が浸透する恐れがありますのでご注意ください。
- ●工場出荷時、メインユニットのバッテリーはテスト用の充電しかされておりません。商品の状態(自然放電等)によっては電池容量不足で作動しない場合がありますので、初めて使用する時は必ずメインユニットのバッテリーを充電してください。
- ●部品の交換修理、オプション品の購入に関しましては、販売店にお問い合わせください。
- ●本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。

⚠ 電波法について

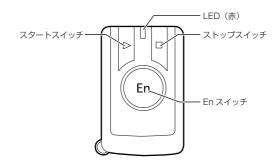
- ●分解したり改造することは電波法で禁止されています。改造して使用すると電波法により罰せられることがあります。
- ●海外では使用しないでください。

梱包内容

メインユニット



リモコン



リモコン操作一覧

	作動内容	操作方	法	詳細
警戒モードの設定(誤警報キャンセル機能なし)		En スイッチ⇒▶スイッチ		P15
警戒モードの設定(誤警報キャンセル機能あり)		▶スイッチ⇒ En スイッチ		P24
警戒	デモードの解除	En スイッチ⇒■スイッチ、 または■スイッチ⇒ En スイッ	·F	P16
警報	を止める	警戒モードの設定操作または警	§戒モードの解除操作	P17
警報		警戒モード解除中に En スイッ	チ⇒■スイッチ	P25
	// 消去する	警戒モードの設定を行う		P25
	警戒パターンの設定を変更する	En スイッチ + ■スイッチを 5 秒長押しする		P20
	衝撃センサーの感度を変更する	▶スイッチを 5 秒長押しする	▶ ¬ / ⊀ ++./+	P22
=n.	空圧センサーの感度を変更する	■スイッチを 5 秒長押しする	▶スイッチまたは ■スイッチを押すことで	P22
設定操:	威嚇 LED の点滅パターンを変更する トスイッチ ■スイッチを 設定内容を変更す 5 秒長押しする	設定内容を変更する ・▶スイッチ:順送り	P23	
作	メインユニット充電中の LED 表示を変更する	En スイッチ + ▶スイッチ + ■スイッチを 5 秒長押しする	■スイッチ:逆送り	P23
	通常モード/輸入車モードを選択する	En スイッチ + ▶スイッチを 5 秒長押しする		P28
	変更した設定内容を登録する	En スイッチを 5 秒長押しする)	
	ID 登録モード(下記参照)中の操作			
リモ	リモコンを再登録する ▶スイッチ⇒■スイッチ		P26	
″ 追加登録する(2 個目) ■スイッチ⇒▶スイッチ			P26	
設定を初期状態に戻す(オールリセット) En スイッチ⇒▶スイッチ+■スイッチを同		スイッチを同時押しする	P27	

⚠ 注意

設定操作を行った際、メインユニットが無くてもリモコンのみ設定モードに入ります。リモコンが設定モードに入っている(リモコンの LED が点灯している)場合、警戒モードの設定 / 解除操作等は行えません。リモコンの LED が点灯している時は、En スイッチを5秒長押しする、または30秒待って設定モードを終了してから操作を行ってください。

ID 登録モードへの入り方

- 1) 警戒モード解除中に電源ジャックからプラグを抜き差しを **15 秒以内**に 5 回繰返す事で ID 登録モードに入ります。
 - ・メインユニットから「ピロリロピロリー♪」と音 が鳴ります。
 - ・両端の威嚇 LED が点滅します。



梱包内容

付属品

サンバイザーステー(1個)



※出荷時メインユニット 電池カバーにセット されています。

メインユニット用 専用バッテリー (1個)



メインユニット電池カバー固定用ネジ (1個/M2×6mm)



メインユニット電池カバー (1個)

シガープラグコード(1 個) (約 4m/1A ヒューズ内蔵)



両面テープ(1枚) (メインユニット固定用)



リモコン用ボタン電池 (1 個) (CR2025)



※出荷時リモコンにセットされています。

セキュリティステッカー(2枚)



オプションについて

本機は以下のオプションを取付け可能です。

品番	品 名	使用目的
SS-063	電源配線ユニット	本製品の電源をシガープラグ接続できない場合に 直接車両の配線から電源を接続できます。
SS-065	AC100V 専用充電器	家庭用(AC100V)コンセントから本製品を充電することができます。
_	XS210 専用 追加リモコン	ID コードの登録を行う事でリモコンを合計 2 個 (付属リモコン含む)まで使用することができます。

で使用の前に

リモコンの電池を交換する

製品購入時には、リモコンの電池は装着されています。電池を交換する場合は以下の 手順に従って電池を装着してください。

1) 電池カバーを矢印の方向へスライドさせ取外します。



2) リモコンから古い電池を取外し、新しい電池(CR2025 × 1 個)を、電池カバー側を+にしてセットします。



※電池カバー側を+にする

 電池カバーを矢印の方向からスライド させ取付けます。



/ 注意

- ・指定電池(CR2025)以外は使用しないでください。
- ・新品の電池を使用した場合、1日8回のスイッチ操作で約1年の使用が可能です。(使用条件により電池寿命は異なります)
- ・リモコンを長時間使用しないときは、電池を取外して保管してください。
- ・工場出荷時はテスト用の電池をセットしていますので電池自体が自然放電して電池寿命が約1年間を下回る場合があります。
- ・電池は消耗品です。約1年間程度で交換することをお勧めします。

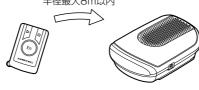
で使用の前に

通信範囲

リモコンからメインユニットへの無線通信には、微弱電波を使用しているため通信範囲は半径最大 8m 以内(サンバイザー取付け時)です。

※ 通信範囲弊社測定による最大値です。取付場所や周囲環境によって通信範囲は変化します





🖢 アドバイス

- ・通信範囲はメインユニットの取付け場所やピラー等の障害物の有無によって極端に短くなる事があります。
- ・リモコンを操作する場合は、電波の送信性を安定させるためにリモコンケースを手で 包み込む事のないように操作してください。



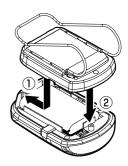
メインユニットに専用バッテリーを取付ける

本製品を使用する前に、専用バッテリーをメインユニットに取付けてください。

1) メインユニットにバッテリーコネクターを接続し、 ケース内にバッテリーコードを挟まないように バッテリーを入れます。



2) 先にバッテリーカバーのツメをメインユニットに掛け(①)、その後バッテリーカバーを閉じます(②)※バッテリーカバーを閉じる際、バッテリーコードをかみ込まないように注意してください。



3) バッテリーカバーを付属のネジ (M2 × 6mm) で締めてください。



⚠ 注意

- ・コネクターには極性がありますのでコネクターの凹凸に合わせてください。
- ・専用バッテリーは消耗品です。2時間以上充電をしてもすぐに作動しなくなる場合や充電ができなくなった場合は新しい専用バッテリーと交換してください。
- ・専用バッテリーの購入に関しましては、弊社製品取扱店にてご注文ください。
- ・本製品は専用バッテリーを使用しています。安全のため専用バッテリー以外は使用しないでください。

で使用の前に

で使用前に必ず**十分な充電**を行ってください。

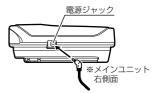
- 本製品は、お買い上げ時には検査用予備充電しかされていませんので、使用前には必ず充電を行ってください。
- 初めて使用する時や内蔵バッテリーが消耗した時は、必ず付属のシガープラグコードを使用し、エンジンを始動した状態で充電を行ってください。
- 充電は電池の状態によって、急速充電・トリクル充電を行い、約2時間で満充電となります。また1時間程度の充電でも使用できますが、動作時間は短くなります。
 - ※急速充電中は充電電流が大きくなり、ケースが熱くなる事がありますが故障ではありません。
- 車両のシガープラグコード接続で充電が困難な場合(長時間エンジン始動ができない場合など)、弊社オプションのSS-065 AC100V専用充電器で家庭用コンセントから充電することができます。

⚠ 注意

充電中はすべての操作が行えません。

メインユニットを充電する

1) メインユニットの電源ジャックに付属の シガープラグコードを差込みます



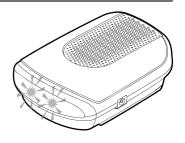
2)車両シガーソケットに付属のシガープラ グコードを差込みます



3) 車両のエンジンを始動した状態で充電を 行ってください



- 4) メインユニットの充電が開始されると、 中央 2 つの威嚇 LED が点灯します。
 - ※ LED が点灯しない場合、【故障かな?と思ったら】(⇒P31)の『メインユニットの充電ができない』をご確認ください。

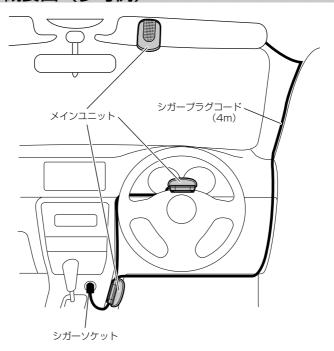


🖢 アドバイス

- ・警戒状態を長期間保つために、走行中に充電(常時シガープラグコードを接続)する事をおすすめします。
- ・充電中の威嚇 LED は設定により、常時点灯・30 秒点灯に切替えることができます。 【初期設定: 充電開始から 30 秒点灯】(⇒ P23)
- ・本製品を満充電した時の連続警戒時間(※)は約7日間です。
- ※ 無警報での監視状態の継続時間。警報動作によって連続警戒時間は短くなります。

取付け

取付け概要図(参考例)



₾ アドバイス

シガーソケットの無い車や、エンジンを停止してもシガーソケット電圧が OV にならない車は、別売オプション SS-063「電源配線ユニット」を使用して車両の配線に直接接続するか、輸入車モード(⇒ P28)を使用してください。

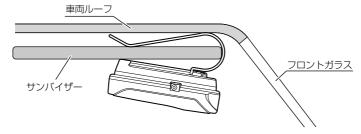
⚠ 注意

本製品の取付けは必ず、他の電子機器から 30cm 以上離して設置してください。リモコンの操作できる範囲が短くなったり、操作できなくなったりする恐れがあります。

メインユニットを取付ける

サンバイザーに取付ける場合

1) サンバイザーにメインユニットを取付け固定します。



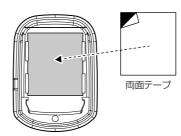
⚠ 注意

- ・サンバイザーステーの取外し・取付けを行う場合は、無理に引抜いたり、押込んだりしないでください。メインユニットのサンバイザーステー固定用フックが破損する恐れがあります。
- ・サンバイザーステーを外側に力を加え、たわませて、フック部を回避するように取外し 取付けを行ってください。



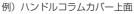
センターコンソール側面等に取付ける場合

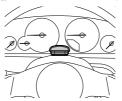
1)メインユニットからサンバイザーステーを取外し、両面テープを貼りつけます。



2) **ダッシュボード上、エアコン吹出し口以外**の任意の場所にメインユニットを固定します。









/ 注意

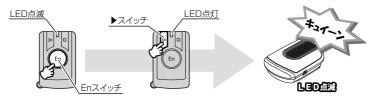
- ・ダッシュボード上等の直射日光・高温にさらされる場所への設置は避けてください。 故障・誤作動の原因となります。
- ・結露等によりメインユニット故障の恐れがありますので、エアコン吹出し口やその付近 に取付けない様に注意してください。
- ・取付けする場所や素材によって両面テープで固定できない場合があります。そのような場合はサンバイザーへ取付けを行ってください。

基本操作

警戒モードを設定する

すべての窓を閉めてエンジンを切り、降車してすべてのドアをしっかり閉めてください。窓が開いていると車内の気圧の変化や衝撃を正しく検知できません。 ※ メインユニット充電中は操作できません。

- 1)【En スイッチ】を押し、LED が点滅中に、【▶スイッチ】を押します。
 - ・リモコンの LED が点灯します。
 - ※リモコンの電池が無くなってくると点灯が早い点滅に切替わります。
 - ・メインユニットサイレンから「キュイーン♪ | と音が鳴ります。
 - ・威嚇 LED が全点滅してキャンセルタイマーが開始されます。(約 10 秒間)
 - ・威嚇 LED が設定したパターンで点滅(⇒ P23)し、警戒モードとなります。



🖢 アドバイス

- ・キャンセルタイマー中は、威嚇 LED が約 10 秒間全点滅します。このとき、各種センサーは異常を検知しません。
- ・キャンセルタイマー中に再度リモコンで警戒モードの設定操作を行うと、10 秒間待たずに警戒モードに移行します。
- ・【▶スイッチ】を押した後、【En スイッチ】を押す事で誤動作キャンセル機能ありの警戒モードに移行することができます。(⇒ P24)
- ・内蔵バッテリーの充電がなくなってくると、警戒モードの設定/解除時の動作が変化します。 $(\Rightarrow P16)$

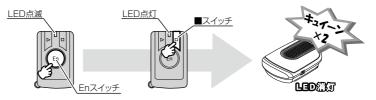
⚠ 注意

ターボタイマー装備車は、ターボタイマー作動中にセキュリティの警戒モードに設定することはできません。セキュリティオートスタート機能(\Rightarrow P21)を使用するか、ターボタイマー終了後、リモコンの操作にて警戒モードの設定を行ってください。

※シガープラグコード接続時のみ

警戒モードを解除する

- 1)【En スイッチ】を押し、LED が点滅中に、【■スイッチ】を押します。
 - ・リモコンの LED が点灯します。
 - ※リモコンの電池が無くなってくると点灯が早い点滅に切替わります。
 - ・メインユニットサイレンから「キュイーン、キュイーン♪」と音が鳴 ります。
 - · 威嚇 LED が消灯します。



※【■スイッチ】を押し、LED が点滅中に、【En スイッチ】を押す事でも解除できます。

内蔵バッテリーの充電がなくなってくると

メインユニットの内蔵バッテリーの充電がなくなってくると、下記のように動作が変化します。その際は必ずメインユニットのバッテリーの充電を行ってください。

- 警戒モードの設定/解除操作の時にメインユニットのサイレン音が、『ブッ』/ 『ブッブッ』に切替わります。また設定登録時の音も『ブッ』に変わります。
- 警戒モード設定時のキャンセルタイマー中の LED 点滅も通常より早くなり、 お知らせします。
- 設定変更時、メインユニットから「ブブッ」と音がした場合は内蔵バッテリー の充電が無くなっています。充電後再度設定を行ってください。

警報動作を停止する

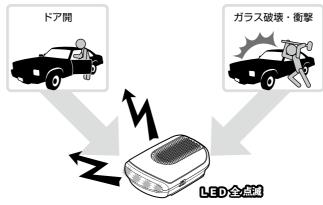
警報を停止する場合、警戒モードの設定操作または警戒モードの解除操作を行うか、キーを ACC ポジション(※)にしてください。 ※ シガープラグコード接続時のみ。

操作内容		状態	
<u>▶</u> スイッチ	【En スイッチ】を押した後、 【▶スイッチ】を押す。	警報動作が停止し、警戒 モードに移行します。	
■Z/y≠ EnZ/y≠	【En スイッチ】を押した後、 【■スイッチ】を押す。 または【■スイッチ】を押し た後、【En スイッチ】を押す。	警報動作が停止し、警戒 モードが解除されます。	
C ACC	キーを ACC ポジションにする。 ※ シガープラグコード接続時 のみ。		

基本操作

警報動作について

警戒モード中に窓ガラス破壊・車体への衝撃やドア開を検知したときには、警報動作 [威嚇 LED が短い間隔で全点滅し、サイレンは最大 105dB(正面 10cm)で鳴動]を発します。警報動作は約30秒後に停止しますが、警戒モードは継続していますので、再度異常を検知すると警報動作します。



最大 105dB (正面 10cm) 大音量警報ブザー

警戒モード設定中に衝撃を検知した時やドアが開いた時に、下記表の動作や表示を行います。警告、警報後は警戒モードに戻り、再度異常を検知すると警告、警報を行います。

	振動センサー		空気圧センサー	
	弱い衝撃(警告)	強い衝撃(警報)	ドア開(警報)	
メインユニット サイレン	「ピロピロピロ」が 3回〜6回鳴ります。 (※アドバイス参照)	「ピロピロピロ・・・」が 約 30 秒間鳴ります。	「キュイーン・・・」が 約 30 秒間鳴ります。	
メインユニット 威嚇 LED	早い全点滅を 約2秒間します	早い全点滅を約	:約 30 秒間します。	

₾アドバイス

弱い衝撃は連続して検知(警告後 15 秒以内に再検知)すると、警告音「ピロピロピロ」が3回、4回、5回とステップアップして警告を行います。5回以降は全て6回「ピロピロピロ」を鳴らして警告を行います。また誤動作キャンセル機能(⇒ P24)を使用すると5回目以降の警告をキャンセルします。

応用操作

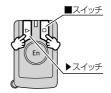
設定方法

本製品リモコン操作で各機能の設定を変更することができます。

- ※ 警戒モード設定中および充電中は変更できません。
 - 1)警戒モード解除中、各機能に対応するリモコンのスイッチを <u>5 秒長押し</u> すると、各機能の設定モードに入ります。
 - ・スイッチを押し続けると、リモコンの LED が点滅⇒点灯へと変わります。
 - ・メインユニットから「ピロリロ♪」と音が鳴り、威嚇 LED が点灯します。

設定項目	操作するスイッチ	参照ページ
警戒パターンの設定	En スイッチ + ■スイッチ	P20
衝撃センサーの感度設定	▶スイッチ	P22
空圧センサーの感度設定	■スイッチ	P22
威嚇 LED の点滅パターンの設定	▶スイッチ + ■スイッチ	P23
充電中の LED 表示の設定	En スイッチ + ▶スイッチ + ■スイッチ	P23
通常モード/輸入車モードの設定	En スイッチ + ▶スイッチ	P28

- 2) 【▶スイッチ】または【■スイッチ】を押すと、 リモコンの LED が点滅し、設定内容が変わります。
 - ・▶スイッチ:順送り・■スイッチ:逆送り



- 変更後【En スイッチ】を <u>5 秒長押し</u>することで設定を登録します
 - ・メインユニットから「ピロリリー♪」と音が鳴り、メイン ユニットの威嚇 LED とリモコンの LED が消灯します。



🖢 アドバイス

- ・リモコンの操作を行わないと約 30 秒後に設定モードが終了します。なお、この時変更した内容は登録されません。再度設定を行ってください。
- ・メインユニットから「ブブッ」と音がした場合は内蔵バッテリーの充電が無くなって います。充電後、再度設定を行ってください。

警戒パターンの設定を変更する

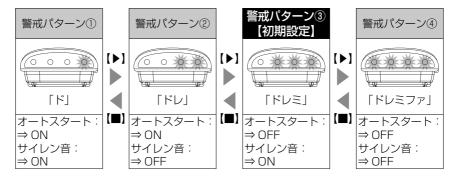
【En + ■】 5 秒長押し → [設定変更] → 【▶または■】 → [設定登録] → [En] 5 秒長押し

※ 詳しい設定操作は P19 を参照ください。

本製品は警戒パターンの設定を変更することにより、セキュリティオートスタート機能の $ON/OFF(\Rightarrow P21)$ と、メインユニットサイレン音の $ON/OFF(\Rightarrow P21)$ を変更することができます。

※ 警戒モード設定・解除時の確認音を OFF することはできません。

設定内容



セキュリティオートスタート機能

本製品はリモコン操作による警戒モードの設定以外に、自動的に警戒モードの設定を行う、セキュリティオートスタート機能を搭載しています。

- 1) シガープラグコード接続時にキーを OFF にします。
 - ・メインユニット威嚇 LED が約30秒間順次点滅します。
 - ・メインユニットサイレンから「キュイーン♪」と音がします。
 - ・威嚇 LED が全点滅してキャンセルタイマーが開始されます。(約10秒間)
 - ・威嚇 LED の点滅パターンが切替わり警戒モードとなります。



🖢 アドバイス

- ・威嚇 LED が約 30 秒間順次点滅している間に警戒モードの解除操作(【En スイッチ】 ⇒ 【■スイッチ】) を行う事で、オートスタート機能をキャンセルすることができます。
- ・エンジンを停止してもシガーソケットの電圧が OV にならない車は、別売オプション SS-063「電源配線ユニット」を使用することにより、キーを OFF にした時に警戒モードに自動で設定されます。 また、付属のシガープラグコードを使用する場合は、シガープラグコードを抜いた時点で警戒モードに自動で設定されます。

サイレン音の ON/OFF 設定

サイレン音を OFF に設定した場合、異常を検知した場合でもメインユニットからサイレン音は鳴らず、威嚇 LED による警報のみになります。

応用操作

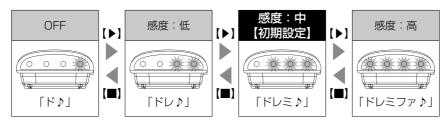
衝撃センサーの感度を変更する

【▶】5 秒長押し ⇒【設定変更】⇒ 【▶または■】 ⇒【設定登録】⇒ 【En】5 秒長押し

※ 詳しい設定操作は P19 を参照ください。

リモコン操作により、衝撃センサーの感度を4段階に調節することができます。

設定内容



🖢 アドバイス

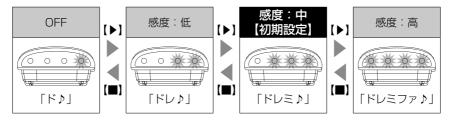
- ・強い衝撃と弱い衝撃の感度は連動して設定されます。(個別に設定することはできません)
- ・駐車場周辺の環境や車両に合わせて衝撃感度の設定を行ってください。

空圧センサーの感度を変更する

【 】 5 秒長押し ⇒【設定変更】⇒ 【 ▶または ■ 】 ⇒ 【設定登録】 ⇒ 【En】 5 秒長押し

※ 詳しい設定操作は P19 を参照ください。

リモコン操作により、空圧センサーの感度を4段階に調節することができます。

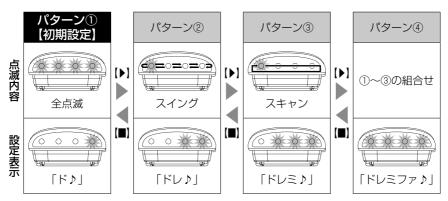


威嚇 LED の点滅パターンを変更する

【▶+■】 5 秒長押し ⇒【設定変更】⇒ 【▶または■】 ⇒【設定登録】⇒ 【En】 5 秒長押し

※ 詳しい設定操作は P19 を参照ください。

リモコン操作により、威嚇 LED の点滅パターンを 4 種類から選択することができます。



充電中の LED 点灯表示を変更する



※ 詳しい設定操作は P19 を参照ください。

メインユニットは充電中、威嚇 LED(中央 2 灯)が点灯します。その威嚇 LED 表示をリモコン操作により、『充電開始から 30 秒間点灯』/『充電中は常時点灯』から選択することができます。



🖢 アドバイス

『常時点灯』設定時、内蔵バッテリーが満充電となっても威嚇 LED は消灯しません。

応用操作

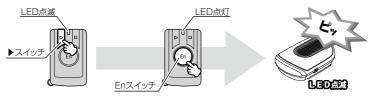
誤動作キャンセル機能

誤動作キャンセル機能を使用することで、15 秒以内に連続して弱い衝撃を検知すると、5 回目以降の警告をキャンセルする事ができます。また 4 回目の警告までサイレン音をステップアップして警告します。



操作方法

- 1) 【▶スイッチ】を押し、LED が点滅中に、【En スイッチ】を押します。(通常の警戒モードの設定方法は【En スイッチ】⇒【▶スイッチ】)
 - ・リモコンの LED が点灯します。
 - ※リモコンの電池が無くなってくると点灯が早い点滅に切替わります。
 - ・メインユニットサイレンから「ピッ」と音が鳴ります。
 - ・威嚇 LED が全点滅してキャンセルタイマーが開始されます。(約 10 秒間)
 - ・威嚇 LED が設定したパターンで点滅(⇒ P23)し、警戒モードとなります。



※ 解除する時は通常の警戒モードの解除と同様の操作(【En スイッチ】⇒【■スイッチ】 または【■スイッチ】⇒【En スイッチ】)を行ってください。メインユニットから「ピピッ」と音が鳴り、解除されます。

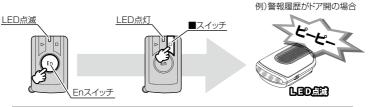
🖢 アドバイス

- ・キャンセルタイマー中は、威嚇 LED が約 10 秒間全点滅します。このとき、各種センサーは異常を検知しません。
- ・キャンセルタイマー中に再度リモコンで警戒モードの設定操作を行うと、10 秒間待たずに警戒モードに移行します。
- ・【En スイッチ】を押した後、【▶スイッチ】を押す事で通常の警戒モード(⇒P15)に移行することができます。
- ・内蔵バッテリーの充電がなくなってくると、警戒モードの設定/解除時の動作が変化します。(⇒P16)

警報履歴を確認する

本製品は警報(強い衝撃とドア開)の履歴をメインユニットに記憶します。リモコン操作により、警報履歴を確認することができます。

- 1) 警戒モード解除中に、再度警戒モードの解除操作(【En スイッチ】⇒ 【■スイッチ】)を行います。
- 2)メインユニットに警報履歴がある場合は、サイレン音と威嚇 LED を下記表のように表示します。履歴がない場合は反応しません。



警報	強い衝撃	ドア開
威嚇 LED の点滅	全点滅×3	全点滅×2
サイレン音	ピッピッピッ	ピーピー

₾ アドバイス

- ・強い衝撃とドア開の警報の両方が履歴にある場合、強い衝撃、ドア開を順に履歴表示 します。
- ・リモコン操作による警戒モードの設定や、セキュリティオートスタート機能により警戒モードに設定されると、警報履歴はクリアされます。それ以外の操作では履歴は消えません。
- ・メインユニットは警報を行った時点で履歴として記憶します

緊急時のサイレン音停止方法※シガープラグコード接続時のみ

リモコンの紛失や電池切れなどの各種トラブルにより手動でサイレンを停止させる場合は、以下の方法を行ってください。

1) キーを ACC ポジションにすることで解除できます



🖢 アドバイス

キーを ACC ポジションにして停止した場合は、警戒モードが解除されます。 ただし、警戒パターンの設定(⇒ P20)にてオートスタートを ON に設定している場合、キーを OFF にすると再度警戒モードに自動で設定されます。

リモコンの ID コードを登録する

- リモコンは最大2台(付属のリモコン含む)まで登録することができます。
- リモコンを紛失または破損した場合、新しいリモコン(別売)を購入し、『ID コード』をメインユニットに登録することで、引き続きご使用いただけます。
- リモコンは、1台目(付属)、2台目(追加)で登録方法が異なります。
- ※ 警戒モード設定中および充電中は変更できません。
- ※ メインユニットの内蔵バッテリー電圧が低下すると「ブブッ」と音が鳴り、登録できません。その際は充電を行った後、再度登録を行ってください。

登録方法

≪共通操作: ID 登録モードに入る≫

- 1) 警戒モード解除中に電源ジャックからプラグを抜き差しし、<u>15 秒以内</u>に 5 回繰返し、ID 登録モードに入ります。
 - ·メインユニットから「ピロリロピロリー♪」と音が鳴ります。
 - ・両端の威嚇 LED が点滅します。



◇ 1 台目(付属)のリモコンの再登録方法

威嚇 LED が全点滅してから 30 秒以内に、登録するリモコンで【▶スイッチ】 を押した後、【■スイッチ】を押します

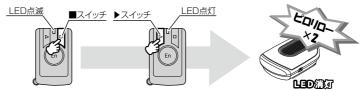
・メインユニットから「ピロリロー♪」と音が鳴り、威嚇 LED が消灯し登録完了です。



◇ 2 台目のリモコンの追加登録方法

威嚇 LED が全点滅してから 30 秒以内に、登録するリモコンで【■スイッチ】 を押した後、【▶スイッチ】を押します

・メインユニットから「ピロリロー、ピロリロー♪」と音が鳴り、威嚇 LED が消灯し 登録完了です。

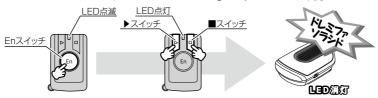


設定を初期状態に戻す(オールリセット)

全ての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1) ID 登録モード(⇒P26)に入った状態で、リモコンで【En スイッチ】を押し、 LED が点滅中に【▶スイッチ】と【■スイッチ】を同時に押します

・メインユニットから「ドレミファソラシド♪」と鳴ればリセット完了です。

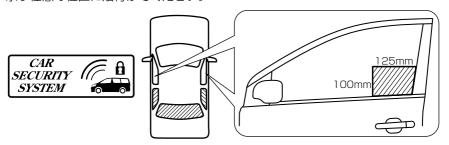


₾アドバイス

メインユニットから「ブブッ」と音がした場合は内蔵バッテリーの充電が無くなっています。充電後再度設定を行ってください。

セキュリティステッカーの貼付け場所について

セキュリティステッカーは必ず車両外側のウィンドウガラスへ、下図の斜線で 示す任意の位置に貼付けてください。



<u></u> 注意

- ・フロントガラスには貼らないでください。
- ・貼付ける位置のウィンドウガラスのゴミ、ホコリ、油汚れ等を取除いてから貼付けを行ってください。
- ・貼付け位置は、リアワイパーを避け、向きに注意して貼付けを行ってください。

輸入車モード

エンジンを停止してもシガーソケットに 12V が通電している車両でも、本製品を簡単に使用できるように省電力で作動する機能です。

ただし車両のバッテリーを保護するため、通常モード時と下記仕様が異なります。

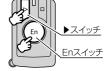
変更される機能	輸入車モード	通常モード
セキュリティオートスタート機能 (⇒ P21)	使用不可	使用可能
通電(充電)時のリモコン操作	操作可能	操作不可
警戒モードの設定 (⇒P15,24)	常に誤動作キャンセル 機能あり	誤動作キャンセル機能の あり/なし選択可能
連続警報回数	強い衝撃およびドア開: 合わせて 10 回まで 弱い衝撃: 40 回まで	制限無し
通電(充電)時の LED 点灯表示(⇒ P23)	30 秒間点灯	30 秒間点灯または 常時点灯から選択可能

/ 注意

- ・車両のバッテリー上がりを防ぐため、必ず 1 週間に 1 度はエンジンを始動して車両バッテリーを充電してください。
- ・使用する際は必ず、メインユニットの専用バッテリーを取外して使用してください。 (通常モードから輸入車モードに設定変更を行う際は専用バッテリーを接続していないと操作できません)

設定方法

- 1)警戒モード解除中にリモコンの【En スイッチ】と 【▶スイッチ】を5秒長押しします。
 - ・リモコンの LED が点滅⇒点灯へと変わります。
 - ・メインユニットから「ピロリロ♪」と音が鳴り、威嚇 LED が点灯します。



2)【▶スイッチ】または【■スイッチ】を押すと、 リモコンの LED が点滅し、設定内容が変わります。



変更後【En スイッチ】を <u>5 秒長押し</u>することで設定を登録します



- ・メインユニットから「ピロリリー♪」と音が鳴り、威嚇 LED が消灯します。
- ・メインユニットから「ブブッ」と音がした場合は内蔵バッテリーの充電が無くなっています。充電後再度設定を行ってください。

LED 表示 および サイレン音





使用方法

1) 設定変更後、**メインユニットから専用バッテリー を取外します**。

/ 注意

必ずメインユニットから専用バッテリーを取外 してください。車両バッテリー上がりや故障の 原因となります。



- 2) メインユニットにシガープラグコードを接続し、使用します。
 - ※メインユニットから専用バッテリーを取外しているため、常時通電していないと動作しません。

こんなときは?

セキュリティオートスタート機能について (⇒ P21)

- Q. エンジンスターターと併用したい。
- A. エンジンスターターと併用する場合、セキュリティオートスタート機能を ON にして使用してください。警戒モード設定中にエンジンがかかる(ACC が ON になる)ことで警戒モードが解除され、アイドリングが終了すると、セキュリティオートスタート機能により、再度警戒モードに設定されます。
- Q. 一部エンジンスターターでエンジン始動しても ACC が ON にならない場合は?
- A. ACC が ON にならないとセキュリティは解除されないため、車に乗り込む前に必ずリモコンにてヤキュリティを解除してください。
- ※ エンジン始動による振動で本製品が弱い衝撃を検知することがあります。
- Q. ターボタイマー装着車に取付けると?
- A. セキュリティオートスタート機能を ON にしていると、ターボタイマー終了後に自動で 警戒モードに設定されます。
- ※ ターボタイマー作動中は警戒モードに設定できませんのでご注意ください。
- Q. セキュリティオートスタート機能を一時的(荷物の積み下ろしやガソリンの 給油中等)に使用したくない場合は?
- A. キーを OFF 後、リモコンで警戒モード解除操作(【En スイッチ】⇒【■スイッチ】または【■スイッチ】⇒【En スイッチ】)を行うことで警戒モードに設定されません。

メインユニット充電中の LED 点灯表示について (⇒ P23)

- Q. 夜間走行中等、メインユニット充電中の LED 表示が眩しい。
- A. 初期状態から『30 秒間点灯』に設定を変更することで、充電開始から 30 秒間点灯し、その後消灯した状態で走行することができます。

故障かな?と思ったら

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
メインユニットの 充電ができない	・メインユニット用専用バッテ リーのコネクタが抜けかかっ ていませんか?	・メインユニット用専用バッテ リーのコネクタを確実に接続 してください。	P9
	・シガープラグコードのヒュー ズ (1A) が切れていませんか?	・ヒューズを交換してください。	_
	・車両シガーソケットから 12V が出力されていますか?	・キーを ACC もしくはイグニッ ションにしてください。	P10,11
リモコンの操作が できない	・リモコンの電池が消耗してい ませんか?	・新しい電池と交換してください。	P7
警戒モードに 設定できない。	・リモコンを手等で包み込んで いませんか?	・リモコンを正しく持って操作 してください。	P8
	・リモコンの操作範囲内にいま すか?	・リモコンの操作範囲は半径最 大約8m以内です。	P8
	・リモコンで操作してもメイン ユニットが反応しませんか?	・ID コードの再登録を行なって ください。	P26
	・メインユニット用専用バッテ リーのコネクタが抜けかかっ ていませんか?	・メインユニット用専用バッテ リーのコネクタを確実に接続 してください。	P9
	・メインユニットが充電中では ないですか?	・充電中は警戒モードに設定で きません。キーを OFF にして 設定してください。	P10
	· 各機能の設定を変更中ではないですか?	・各機能の設定を変更中は警戒 モードに設定できません。変 更を終えてから警戒モードに 設定してください。	1
	・メインユニット用専用バッテ リーの電池容量が低下してい ませんか?	・メインユニット用専用バッテ リーを充電してください。	P10,11
	・リモコンが設定モードに入っ ていませんか?	・En スイッチを5 秒長押しし、 設定モードを終了してくださ い。	_
	・ID 登録モード中ではありませ んか?	・ID 登録モード終了後、警戒 モードに設定してください。	P26
サイレン音が 鳴らない	・サイレン音の設定が OFF に なっていませんか?	・警戒パターンの設定を変更し てください。	P20,21
リモコンで警戒 モードの設定/解 除操作を行うとメ インユニットから 『ブッ』/『ブッブッ』 と音が鳴る	・メインユニットの内蔵バッテ リー電圧が低下しています。	・メインユニット用専用バッテ リーを充電してください。	P10,11

お買い上げ時の設定一覧

設定項目	設定内容	参照ページ
警戒パターン	パターン③ セキュリティオートスタート:OFF サイレン:ON	P20
衝撃センサー感度	感度:中	P22
空圧センサー感度	感度:中	P22
威嚇 LED 点滅パターン	パターン① LED 全点滅	P23
メインユニット充電中の LED 点灯表示	充電開始から 30 秒間点灯	P23
通常モード/輸入車モード	通常モード	P28,29

製品仕様

メインユニット

警報音圧 最大 105dB (正面 10cm)

動作温度範囲 - 20°C~+ 80°C 電源電圧 12V 車専用

消費電流 急速充電時: 400mA以下

トリクル充電時:80mA以下

警戒時:平均2.5mA以下(通常モード時)平均6mA以下(輸入車モード時)

警報時:最大 130mA (通常モード時) 最大 75mA 以下 (輸入車モード時)

取入 / SITIA 以下 (輸入単七一下時 76.5 (W) × 63 (H) × 28 (D) mm

重量 88g (専用バッテリー含む)

リモコン

ケース寸法

送信出力 微弱電波 送信周波数 318MHz 帯 動作温度範囲 - 10℃~+ 60℃

使用電池リチウム電池CR2025 × 1電池寿命約1年(1日8回の操作)

ケース寸法 28 (W) × 44 (H) × 12.5 (D) mm

重量 12g (電池含む)

※ 本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。